



福島町長 鳴海 清春



躍動することで 明るい未来を切り開く！

町民の皆さん、新年あけましておめでとうございます。本年もご家族おそろいで輝かしい新春を迎えられ、心からお喜び申し上げます。2026年は丙午（ひのえうま）にあたります。午年は十二支の7番目で、昔から躍動、成功などを象徴する干支とされております。福島町も合併70周年を終え、新たな一年に躍動するような良き年の幕開けとなることを願うものであります。

昨年は、7月に市街地で町民の方がヒグマに襲われて亡くなるという痛ましい事故が発生し、町民の尊い命が失われております。改めて、お亡くなりになられた方のご冥福をお祈り申し上げます。

また、そのことにより北海道からヒグマ警報が発出され、「九重部屋の夏合宿」や「やるべき福島イカまつり」などのさまざまなイベントが中止となっております。多くの町民の皆さんにご迷惑とご心配をおかけしましたことを改めてお詫び申し上げます。

しかし、そのような中にあって、10月には合併70周年記念式典を行うことができました。多くの町民の方々に参加をいただき、先人たちの歩みに感謝することができました。今を生きる町のトップとして、“まちの灯”を絶やすことなく、一歩一歩着実に歩みを進めてまいります。

町内の前浜では、町がこれまで進めてきた養殖昆布施設の成果が表れ、昨年は養殖コンブおよびウニの漁獲高が、近年にない生産額

を記録しております。

また、将来の安定的な生産の確保を目的に建設された、ウニ・養殖昆布の種苗生産施設が順調に稼働しており、今年の秋の収穫に大いに期待するものです。浜の活気、元気が“まち”的源となります。

観光では、青の洞窟を巡る岩部クルーズが着実にまちの新たな顔として定着し、道の駅もリニューアル後、着実にお客様を増やしております。さらなる魅力のアップに向けた取り組みを加速してまいります。

町では、第6次（令和6年～令和13年）の福島町総合計画を基にまちづくりを推進しております。

国の関係事業では、松前町白神と吉岡地区をつなぐ新たな白神防災道路が順調に推進されており、早期の事業実施に向けて国の予算確保に努めてまいります。

町の事業では、若者向けの定住向け町有住宅建設などが計画されております。

町民一人ひとりが夢と希望と勇気を持って行動すること、それがまちづくりの実現に欠かせない要素となりますので、町民の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

新たな一年の初めにあたり、福島町に住むすべての方が幸せを感じるような町政に努めるとともに、町民の笑顔が広がるよう皆さんに寄り添った行政を目指してまいります。

新しい年が町民の皆さん並びに福島町にとって燐々と輝く年となりますよう、心からご祈念申し上げ、年頭のあいさつといたします。